



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場会社名 アークランドサービス株式会社
 コード番号 3085 URL <http://www.arclandservice.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 臼井 健一郎
 (氏名) 玉木 芳春

上場取引所 東
 TEL 03-5217-1531

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	12,800	18.5	1,891	16.8	1,899	16.1	1,196	23.9
25年12月期第3四半期	10,801	15.2	1,620	10.4	1,636	8.3	966	14.1

(注)包括利益 26年12月期第3四半期 1,196百万円 (23.8%) 25年12月期第3四半期 966百万円 (14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	161.17	—
25年12月期第3四半期	136.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	13,563	10,667	78.6	1,340.33
25年12月期	9,737	6,815	70.0	965.48

(参考)自己資本 26年12月期第3四半期 10,667百万円 25年12月期 6,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年12月期	—	15.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年12月期の第2四半期末配当金には上場市場変更記念配当5円00銭を含んでおります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	13.4	2,500	7.6	2,550	8.1	1,430	5.7	189.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 当社は、平成26年6月12日を払込期日とする公募により普通株式900,000株を発行しております。平成26年12月期の通期連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益は、上記普通株式900,000株の増加を考慮して算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	8,274,000 株	25年12月期	7,374,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	315,220 株	25年12月期	315,220 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	7,424,714 株	25年12月期3Q	7,058,857 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による様々な経済政策により「負のスパイラル」から抜け出し、企業収益が上向くとともに、個人所得や雇用情勢の改善が見られるなど、経済の好循環が動き始めてきました。また、金融・資本市場の動向や新興国の経済動向など先行きリスクはあるものの、2020年の東京オリンピックに向けて民需主導の景気回復への期待感から、先行きの景況感にも明るさが見られました。

外食業界におきましては、懸念をされていた消費税増税による個人消費低迷の影響は軽微であり、売上高・客数ともに底堅く推移いたしました。依然として人手不足や食材価格・エネルギー価格の上昇などの問題は深刻化してきており、厳しい経営環境が続いております。当社グループにおきましても、豚肉価格の高騰・天候不順による野菜価格の高騰など、大変厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは、「かつや」併設店舗の拡大など「かつや」平均月商の引き上げへの施策の実施と、出店加速・QSCAの維持向上・人材教育等に積極的に取り組んでまいりました。

既存店につきましては、「かつや」において9回のフェアメニューの投入と5回のキャンペーンを実施した結果、1～9月の既存店売上高前年比は、直営店においては102.3%、FC店においては103.7%と堅調に推移いたしました。また、既存店14店舗の「かつや」併設型への改装を実施いたしました。

出退店につきましては、「かつや」を直営店7店舗（海外1店舗含む）、FC店35店舗（海外5店舗含む）出店し、直営店3店舗をFC加盟店に譲渡、直営店1店舗が賃貸借契約満了により閉店したことにより、「かつや」の当第3四半期末の店舗数は純増41店舗の288店舗となりました。その他の業態につきましては、「チェントペルチェント」と「岡むら屋」を各1店舗出店いたしました。また、「チェントペルチェント」を1店舗閉店したことにより、当第3四半期末の店舗数は12店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,800百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益1,891百万円（前年同期比16.8%増）、経常利益1,899百万円（前年同期比16.1%増）、四半期純利益1,196百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

なお、当社グループは外食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は9,412百万円となり、前連結会計年度末の5,687百万円から3,725百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が1,280百万円減少したものの、有価証券が5,000百万円増加したためであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は4,150百万円となり、前連結会計年度末の4,050百万円から100百万円増加いたしました。その主な要因は、新規出店に伴い有形固定資産が98百万円増加したためであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は2,109百万円となり、前連結会計年度末の2,207百万円から98百万円減少いたしました。その主な要因は、未払法人税等が188百万円減少したためであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は787百万円となり、前連結会計年度末の714百万円から72百万円増加いたしました。その主な要因は、受入保証金が56百万円増加したためであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は10,667百万円となり、前連結会計年度末の6,815百万円から3,852百万円増加いたしました。その主な要因は、株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,475百万円増加したことと、四半期純利益1,196百万円の計上がありました。また、配当金295百万円を支払ったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,529	3,249
売掛金	620	703
有価証券	—	5,000
商品	195	100
原材料及び貯蔵品	31	34
その他	313	328
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	5,687	9,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,712	1,799
その他(純額)	215	227
有形固定資産合計	1,928	2,026
無形固定資産		
	4	7
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,029	1,053
建設協力金	674	664
その他	441	399
貸倒引当金	△28	—
投資その他の資産合計	2,117	2,117
固定資産合計	4,050	4,150
資産合計	9,737	13,563
負債の部		
流動負債		
買掛金	820	785
未払法人税等	508	319
賞与引当金	—	25
その他	878	978
流動負債合計	2,207	2,109
固定負債		
受入保証金	517	573
資産除去債務	196	213
その他	0	0
固定負債合計	714	787
負債合計	2,922	2,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	456	1,932
資本剰余金	408	1,884
利益剰余金	6,029	6,930
自己株式	△79	△79
株主資本合計	6,815	10,668
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
純資産合計	6,815	10,667
負債純資産合計	9,737	13,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	10,801	12,800
売上原価	4,586	5,760
売上総利益	6,215	7,039
販売費及び一般管理費	4,595	5,147
営業利益	1,620	1,891
営業外収益		
受取利息	10	16
協賛金収入	11	12
雑収入	12	22
営業外収益合計	34	51
営業外費用		
持分法による投資損失	12	8
株式公開費用	—	13
株式交付費	—	20
雑損失	4	1
営業外費用合計	17	43
経常利益	1,636	1,899
特別利益		
固定資産受贈益	5	—
店舗譲渡益	—	93
貸倒引当金戻入額	—	28
その他	0	—
特別利益合計	5	122
特別損失		
固定資産除却損	12	20
店舗閉鎖損失	40	14
減損損失	—	16
その他	—	6
特別損失合計	53	57
税金等調整前四半期純利益	1,588	1,964
法人税、住民税及び事業税	610	731
法人税等調整額	11	36
法人税等合計	622	767
少数株主損益調整前四半期純利益	966	1,196
四半期純利益	966	1,196

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	966	1,196
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	966	1,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	966	1,196
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月12日を払込期日とする一般募集による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,475百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,932百万円、資本剰余金が1,884百万円となっております。

3. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、本日公表の「代表取締役等の異動に関するお知らせ」をご参照ください。